

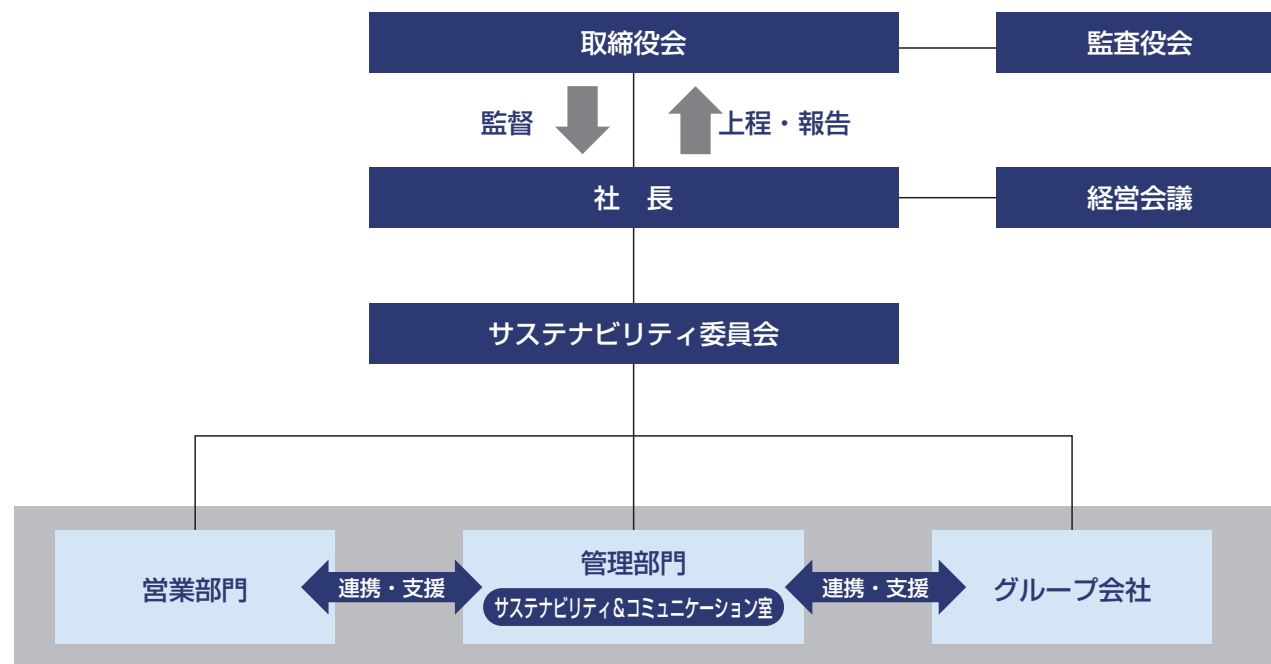
サステナビリティ経営の推進

1 方針

人口減少により国内市場が頭打ちの反面、グローバルな競争環境は激化の一途、財政問題顕在化の虞、気候変動、テクノロジー進化への喫緊の対応といった、社会・経済的課題・事業課題は山積みです。こうした、お客さまを取り巻く課題に対し、金融の枠を超えた価値共創のパートナーとして解決を導く、プラットフォームカンパニーへと進化することが当社グループの目指すところです。当社グループは、経営理念に基づき、事業活動を通じてステークホルダーのみなさまと共有できる価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。

2 推進体制

当社グループは、サステナビリティに関わる全社横断的な協議、報告を行うサステナビリティ委員会を設置しています。具体的には、ESGを含むサステナビリティに関わる情報共有、サステナビリティ経営の基本方針・目標の立案、計画の実行状況のモニタリングと対策協議等を行っています。



サステナビリティ委員会

共同委員長	サステナビリティ統括責任者、人事・総務グループ長
委員会構成員	人事・総務グループ長、財務・主計グループ長、企画グループ長、リスク管理グループ長、ITシステム・事務グループ長、法務・コンプライアンスグループ長、審査グループ長、環境エネルギー本部長、その他社長の指名する役員
頻度	原則四半期

3 マテリアリティの特定

環境・社会課題への取り組みの重要性はますます高まっており、当社グループは、持続可能な社会の実現と成長を目指していくため、社会と当社グループのそれぞれのリスクと機会の観点から、優先的に取り組むべき6つのマテリアリティを特定しています。

STEP 1 | 課題の抽出

SDGsやSASB業種別マテリアリティマップ等から、国内外で環境・社会・経済等の観点から長期的に取り組むべき約300項目をリストアップ。

STEP 2 | 課題の分析

各課題の社会的な重要度と当社グループにとっての重要度を外部有識者の知見も活用しスコアリング。当社グループが事業を通じて解決に貢献できる、または解決への貢献を目指していく課題を選出。

STEP 3 | 課題の評価

経営者インタビュー、社員アンケートを実施し、社会と当社グループのそれぞれのリスクと機会の観点から重要性を評価。優先的に取り組む課題を整理・選出し、6つのテーマに絞り込み。

STEP 4 | マテリアリティの特定

6つのテーマにおいて、当社グループが優先して取り組むべきことに関して議論を重ね、マテリアリティの妥当性について、経営会議での協議・審議を経て、取締役会において決定。

マテリアリティの評価イメージ

